生活創造空間にし
NISHI

前回の号の巻頭で触れていた「新しいプロジェクト」、とは
「屋上の守り人　“カカシ”プロジェクト」なのでした。
駅のホームからであったり、通路越しであったり、
館内でお見かけした方もいるかと思いますが、
カカシ達は思い思いにポーズを取っていたのでした。

現在は屋上庭園「檸檬」で園芸ボランティアさん達や、
カラスのみなさんに積極的に挨拶し続けて、
屋上の平穏を守っていてくれていることでしょう。

今号の巻頭は、西区地域自立支援協議会の一部会である
「西 PEC」の実行委員長 樋野さんと
ご参加された安田さんにお話して頂きました。

～アンラシネを目指します～

第 46 号　2020 年 10 月 20 日発行

# セイペック 西PEC 2020.10.12 総会の報告

西 PEC 実行委員長
無限夢工房
樋野（ひの）　大禄（だいろく）氏

先日 10 月 12 日に、にしとも広場にて西 PEC 総会を無事に終えることができました。

いつも「西 PEC（セイペック）」とは何ですか？と問われますので簡単に経緯を説明します。今から 10 年前、「横浜が世界の中心になる 1 週間」と言う素敵なキャッチフレーズとともに APEC（アジア太平洋経済協力会議）がパシフィコ横浜で行われました。そこで APEC の A を西(セイ)に変えて障がい当事者の方が横浜の舞台で中心になる思いを込め、今から３年前に「西 PEC」と名づけ、立ち上げました。具体的には、障がい当事者の話を直接聴いて公に繋げることが目的です。

それが遂に、昨今話題の「ZOOM」を使用して実現しました。

当日は現地会場・ZOOM 中継会場・ZOOM 個別参加に分けて行われました。中継会場は、生活創造空間にし・生活支援センター西・CAFÉ アニミです。スペシャルゲストとして西区福祉保健センター小黒担当部長をお迎えし、10 名以上の当事者や家族の方が一人ひとり真剣に発言しました。緊張しながらも自分の言葉で伝えて下さり、周りの関係者も真摯に受け止めた素晴らしいイベントでした。

印象的だったのは、重度障がいのある方が指文字という手法を介して参加され、プロジェクター越しにライブ配信された事を、行政を始め様々な人達が受け止め共有しました。
コロナ渦でなかったらこのような機会は無かったかも知れません。
ノーマライゼーションのあり方のひとつだと感じました。

今後とも「西 PEC」をよろしくお願いします。

## 参加者された方より

とても緊張しましたが、オンラインを通じていろいろと交流できて、とても楽しかったです。

また機会があったら参加したいですが、今度は別の人も参加してほしいです。

今後要望として、もう少し長く話したかった。
一方的な話が多かったので、会話ができると良かったです。

就労支援サポートセンター
エヌ・クラップ
安田（やすだ）　真二（しんじ）氏

# ２０２０年度　にし研修レポート

## 第３回『優生思想と現代史』　市野川 容孝氏

**令和二年　９月１１日（金）１７時半～１９時半　参加者…４０名**

今年度の生活創造空間にし研修は、年度テーマを**『津久井やまゆり園事件について考える』**とし、年６回予定で開催中です。その第３回目として、令和二年９月１１日(金) １７：３０～１９：３０生活創造空間にし５階食堂にて、東京大学大学院教授の市野川 容孝氏をお招きして**『優生思想と現代史』**についての研修を開催しました。

当日はソーシャルディスタンス確保の上から、事前申込制先着４０名定員としましたが、即座に満員御礼となり、このテーマの関心の高さをうかがい知ることが出来ました。

いわゆる『優生思想』という言葉を『津久井やまゆり園事件』の発生後、報道などを通して、耳にした方が多いかと思います。私自身もこの事件を通して『優生思想』ということについて考える機会が増えました。また、この言葉の持つ意味や概念についても漠然と理解しているつもりでいました。しかし、本研修を通して、私の認識に間違った解釈がいくつもあったことに気づきました。さらに歴史を概観して、『優生思想』という概念が形成されていく過程を知ったことで、改めて、言葉の持つ意味や名称の大切さを認識いたしました。

本研修を通して印象に残ったことはたくさんありましたが、特に私が印象に残ったことは、死刑制度について市野川氏が言及した点です。それは**『結果的に私たちの社会は彼を死刑にするという選択をした。しかしこの事実は究極的には彼が主張した「要らないものは排除する」という論理と類似性が高い。私たちは彼を「要らないもの」として「排除する」という選択をしたのだ。**（※市野川氏がこの表記通りの発言をしたわけではありません。こうした趣旨の発言をしたと私は理解しています。）』という主旨でした。このことが意味する重みに大変なショックを受けたとともに、これまで津久井やまゆり園事件についてモヤモヤしていた点が言語化されたような、スッキリしたような感情もわきました。

こうしたことについて、様々な意見や見解があるでしょうから、議論の余地がまだまだあるように思います。その上で、この研修を通して更に『津久井やまゆり園事件』について考え続ける大切さを感じました。まだ今年度の生活創造空間にし研修『津久井やまゆり園事件について考える』は続きます。

次回以降の予定はホームページや、生活創造空間にし館内や、地域の関連施設等で配架させて頂いているチラシにてご確認ください。皆様のご参加お待ちしております。

西区基幹相談支援センター　森　博宣

みんなの節供

# ちょうよう　せっく
# 重陽の節供

令和２年９月１８日（金）　「生活創造空間にし」にて、**「重陽の節供」**をコロナ渦になってから初めて開催いたしました。

今回に関しては「ソーシャルディスタンシング」、「手指消毒」、「換気」等、基本的な感染症対策の他に、いつも以上に色んな新しい取り組みを検討し実施に至りました。人数制限や座席の指定等、多岐に渡りました。実施後、数日の期間が経っても感染の報告や、特別な問題の発生なく実施できましたのは、この取り組みに対して慎重に向き合って下さった上でご参加された皆々様のおかげであると思っております。この場を借りて、ご協力、誠にありがとうございました。

16:30～18:00 という少し短めな時間設定で開催されました。定員３０名の抽選という形となり、今回は残念ながらご当選されなかった方もいらっしゃいましたが、初見の方からよくいらっしゃる方々までご参加して頂けました。

１ 部のコンサートでは、歌の飛沫などを配慮した結果、うたを歌う場合も、歌い手の場所を演者同士も、お客さんとの間隔も１～２ｍは空けて歌ったり、言葉だけではなく、目でも手でも楽しめるように「お好み焼きの歌」の手作りのパネル等を使ったり、プロジェクターを使用した森のどうぶつ達の愛らしい影絵等、「流石、おもちゃのはこさん♪」と思わせる工夫の数々でしたね。

２部は５階食堂で“みんなの節供特製弁当”を、それぞれの席で食しました。献立は＜栗ご飯＞、＜鮭の塩焼＞、＜から揚げ＞、＜蒸し鶏のサラダ＞、＜ナスのおしんこ＞、＜杏仁豆腐＞という秋めいた献立。どれも美味しかったと評判でした。

そして、当所の食堂から見える景観の良さを改めて観て頂けた事も非常にありがたい結果となりました。夕焼け空に味が出ていましたね。

次回は、１月８日（金）　16:30～18:00　**「七草の節供」**です

詳細は別途チラシ等々で情報発信します。少々お待たせ致します。

（ガッツ・びーと西　古田中　一輝）

## にぎわい＆にしよこ寄席　其の17　8月29日（土）報告

コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれることもありましたが、演者お二方、にぎわい座の方々、お客様の皆さんに感染予防対策にご協力いただき、無事に開催することができました。今回ご出演いただいたお二人は、瀧川 鯉丸さん、春風亭 橋蔵さん。にぎわい＆にしよこ寄席には初めてご参加いただきました。

⇦鯉丸さんは、優しい笑顔が印象的で、お人柄が声にも出ていて優しい語り口調で会場を包んで下さいました。

橋蔵さんは、ハスキーボイスがなんとも魅力的で⇒
力強い語りと描写でお客様を引き付けていらっしゃいました。

30席準備させていただいた客席は満員となり、久しぶりに土曜日午後に、皆さんの笑い声で生活創造空間にしに活気が出て、明るくなりました。新様式で色々と不手際もあったかと思いますが、今後も安心、安全を心がけながらこの会も長く続けていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

**松乃家　もや雄**

# 令和２年度 生活 創造 空間 にし から イベントのお知らせ

| 日時 | 内容 | 講師/演者 | 場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 10/31(土)<br>10:30<br>～13:00<br>【共催イベント】 | 第3回　にしよこ就職フェア<br>～ふくしの仕事を知ろう！～ | | 生活創造空間にし<br>5F食堂 | 来場された方には、<br>各施設自慢の手作りクッキーや<br>自主製品のステキな<br>「おみやげ」プレゼント☆ |
| 11/ 7(土)<br>※終日3回上映<br>【にし研修】 | 映画『道草』上映<br>①10:00-12:00<br>②13:00-15:00<br>③15:30-17:30 | | 生活創造空間にし<br>5F食堂 | 各回先着30名<br>※詳細別紙チラシ参照。 |
| 11/13(金)<br>17:30<br>～19:30<br>【にし研修】 | 「津久井やまゆり園<br>私達が目指すもの」<br>～事件から４年　これまでの経過と現状報告～ | 入倉　かおる　氏<br>津久井やまゆり園園長 | | 先着40名<br>※FAXで要事前申込。<br>別紙チラシ参照。 |
| 12/ 4(金)<br>17:30<br>～19:30<br>【にし研修】 | ※現在調整中 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 1/ 8(金)<br>16:30<br>～18:00<br>【にし研修】 | みんなの節供<br>～七草の節供～ | おもちゃのはこ | 1Fエントランス<br>&<br>5F食堂 | 詳しくは後日チラシにて |

## 男 もや田 の もやもや日記

今年は初めてバリウムを飲む機会がありました。
まだ経験のない方も沢山いると思うので、簡単な説明をすると、
発泡剤というゲップが出やすくなるものを先に飲み、その後にバリウムを飲んで
徐々に体を動かしながら体内の検査をするというものです。
バリウムがまずいとか、ゲップを堪えられなければさらに飲みなおすとか
事前に聞いていたので少しばかりの不安がありました。
いざ検査となり、発泡剤を飲み、その後バリウムを飲む準備をしていた時、検査担当の方が
色々確認を始め、２名の検査技師の方々で話を始めたのが横目に入りました。
こちらはもう発泡剤の効果でこみ上げてくるものを我慢している状態です。
２名の話がおそらく５、６分程度でしたが、私の体感時間では１５分以上経過しているような気持ちでした。
もう我慢の限界で私の方から**「すみません。一度出します。」**と伝えると
**「すみません、もう始めます。」**との返答。でももう待っていられず、リセットしてしまいました。
結果、再度発泡剤からスタート。**「初めてですもんね」**と声を掛けられましたが、それではなんだか
我慢できなかった私が悪いような雰囲気で。でも、事前の確認は先にやっといてくれれば、
２回も発泡剤を飲まずに済んだのではないかと。ただ、検査のルールがわからないから
これは、**何が正解なのかはっきりしない** というモヤモヤでした。

生活創造空間にし　ＵＲＬ：http://www.souzoukuukannishi.org
【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会　〒220-0055　横浜市西区浜松町 14-40
☎ 045-250-6506（ガッツ・びーと西）　☎ 045-250-6470（エヌ・クラップ）